



平成 19 年 11 月 21 日

各 位

会社名 さくらインターネット株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼
最高経営責任者 笹田 亮
(コード番号 3778 東証マザーズ)
問合せ先 取締役最高財務責任者
片岡 督雄
(TEL. 06-6265-4830)

ネットワーク・バックボーン容量の追加増強に関するお知らせ

当社は、ユーザーの堅調なインターネット接続ニーズに応え、高い安定性と高いスループットの提供を継続して確保するため、ネットワークの基幹回線であるバックボーンの容量に関して、増強を図っております。当社は、このほどバックボーン容量について 112Gbps から 128Gbps へ増強し、本日その概要などについて別紙のとおり発表しましたので、お知らせいたします。

なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微なものを見込んでおります。

以上

さくらインターネット、バックボーンネットワークを增強 ～総容量 128Gbps に增強しコンテンツ配信能力をさらに強化～

さくらインターネット株式会社（大阪府中央区、代表取締役社長：笹田亮 Tel：03-5339-9651）は、2007年11月21日、インターネットデータセンターを支える基幹ネットワークであるバックボーンネットワークの回線容量を、112Gbps から 128Gbps へ增強したことをお知らせいたします。

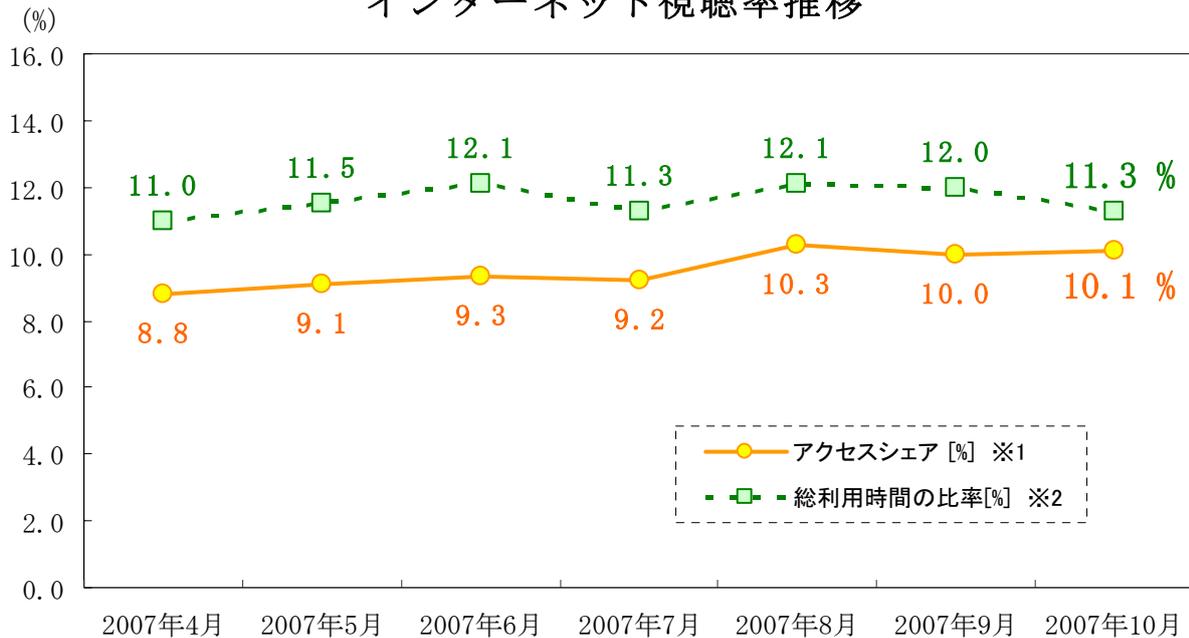
インターネット接続環境のブロードバンド化の進展とコンテンツ量の増大、大容量化などの要因により、データセンターには継続的なコンテンツ配信能力強化という課題が課せられています。

当社は、従来よりデータ配信能力に優れたデータセンターとして、日本最大クラスのバックボーンネットワークを構築・運用してまいりました。その強みを活かし価格競争力の高いサービスを提供することで、ブログや SNS、動画共有サイトなどアクセスの多い人気コンテンツを多数お預かりしております。

バックボーンネットワーク回線容量推移



インターネット視聴率推移



現在では一般家庭からのインターネット利用における当社データセンターへのアクセスが占める割合は10.1%に上り（※1）、総利用時間ベースでは実に11.3%もの比率（※2）で当社データセンターにて運用されているコンテンツが閲覧されています。（※3）

当社の大容量・高速バックボーンネットワークにより実現される高品質な通信回線と、価格面の優位性をもとに、多くのコンテンツ、トラフィックが集まった結果、両数値とも10%を超える値を集めております。

今年8月のバックボーン増強に続き、さらにバックボーン容量を16Gbps増強し、総容量は128Gbpsに達しました。さくらインターネットは、今後も継続してコンテンツ配信能力を強化し、日本のインターネットコンテンツの発展を支えてまいります。

さくらインターネットのバックボーンネットワークの詳細につきましては、以下のウェブページをご覧ください。

http://www.sakura.ad.jp/about_sakura/backbone/

※1 インターネットアクセス全体における、当社管理IPアドレスへのアクセスが占める割合（アクセスシェア）

※2 インターネット総利用時間に対する、当社管理IPアドレスにて運用されているコンテンツでの利用時間の比率（同時に複数コンテンツを閲覧する場合もあるため、割合（シェア）ではありません）

※3 株式会社ビデオリサーチインタラクティブ調べ（調査期間：2007年10月15日～10月21日の1週間）

□ さくらインターネットについて

URL：<http://www.sakura.ad.jp/>

代表者：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 笹田亮／本社：大阪府中央区南本町1-8-14

設立日：1999年8月／資本金：3億9,505万円（2007年3月末現在）

■ この報道資料の問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 企画部 渋谷

TEL：03-5339-9653 FAX：03-5339-9654

E-mail：press-m1@sakura.ad.jp URL：<http://www.sakura.ad.jp/>